



「麗は3ヶ月」という小さな本が、私の師である、イギリスの庭の手入れについて書かれたこの本を読み、私も自分の庭を持つと想いました。海外へ引っ越した。新築住宅地の庭の条件は、かなり厳しいものでした。正土をたいた今、敷きましたという庭は、ちっとも開けただけで、草やコンクリートの部材がどっぴり出てきた。私はホームセンターに何度も行って、前に買った土を選び入れ、腐葉土を買ってきてあげた。やがてたち、ようやく庭が柔らかさや草の繁殖に覚えようになってから、花の種や苗を買い込んだ。小さな木も何本か植えた。3年たった今、私の庭は人に見せびらかしてもいいかなと思うくらい、きれいになってきている。都合暮らしに余裕がたっぷりだった事も、ガーデンに興味を持つようになった。しかし、事はすでに保っている花を買ってきて、コンテナにはぼんぼん植えただけで、ほらコンテナガーデンと部品の友人に自慢する。そして私の庭よりも綺麗を出している。お、いい、それは庭用だよ。だが、私が大切にしているものはわねなかった事にしてみれば、3ヶ月の進歩からと思わないでもない。

PER DUE

GARDENER



Debbie V. Palao's terracotta tile inlaid furniture collection for Kosuga Co., Ltd., Japan, as featured in their stylebook The De Per Due Vol. 1.

